

## 職業能力評価基準(総合工事業)レベル区分の考え

レベル	レベル区分の目安
レベル 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営者を補佐し、または経営者の代理として活動する能力水準。</li> <li>・会社全体について方針や政策の立案に参画する能力水準。</li> <li>・経営的な判断及び意思決定に参画し部門活動に反映させる能力水準。</li> <li>・統括する部門において利益の向上・適正化をるための管理的な仕事を行う能力水準。</li> <li>・個別及び部門業績の到達度に関して、達成度に応じ自ら参画する能力水準。</li> <li>・営業活動、営業企画活動、建設生産活動に対する各種支援業務や、統制的業務が確実に実施されている状態を維持する能力水準。</li> </ul>
レベル 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社の計画に基づき、部門における運営計画を立案し、提案する能力水準。</li> <li>・組織を統括し、計画的に職務を遂行させる能力水準。</li> <li>・関連部署、社外組織と調整し、問題解決をする能力水準。</li> <li>・組織をまとめ、部下に業務を指示し指導する能力水準。</li> <li>・担当する職務領域(管轄下の作業所、市場、商品領域等)における営業活動、営業企画活動、建設生産活動の管理状態が良好であることを維持する能力水準。</li> <li>・現場の責任者としての権限と責任を理解し、建設生産活動全般を管理し顧客の満足を得る能力水準。</li> <li>・未経験工事を含めて、全ての工事の要点と管理基準を把握して、合理的に工事を計画し管理遂行したうえで、要求品質を実現する能力水準。</li> </ul>
レベル 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な判断、条件変更への対処、改善・提案に係わる能力水準。</li> <li>・目標達成を目指して、創意工夫をこらし、指示が無くても自主的に仕事を行う能力水準。</li> <li>・技術・知識を活かし、業務達成に対して実務を担当する能力水準。</li> <li>・組織の一員として組織全体の業績を向上させる能力水準。</li> <li>・部門における運営計画を理解し、部門内での計画実行に関する実務を担う能力水準。</li> <li>・営業活動、営業企画活動、建設生産活動等の担当職務における各種業務計画を立案し承認を受け、仕事の遂行に関する業務や管理をする能力水準。</li> <li>・営業活動、営業企画活動、建設生産活動における全般的な知識を具備し、管理水準を設定し、要求品質を実現する能力水準。</li> </ul>
レベル 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定型的または基本的な仕事を行う能力水準。</li> <li>・部分的に指導を受けながら定められた手順に従って行う能力水準。</li> <li>・組織の一員として指示を受け、ある程度任されて仕事を行う能力水準。</li> <li>・作業指示下または指導管理下で仕事を行う能力水準。</li> <li>・基礎的な実務知識を持ちながら、業務遂行のために、必要に応じて情報交換のうえ、判断要素を提供し改善策を検討したり、会社のルールの説明を行う能力水準。</li> <li>・営業活動、営業企画活動、建設生産活動における基的な知識を具備し、管理水準を把握したうえで適切性を判断する能力水準。</li> </ul>

# 総合工事業におけるキャリア形成の例

